

平成30年度 事業報告

【1】17回 通常総会の開催

平成30年6月9日(土) 午後3時30分～4時30分

日立市社会福祉協議会 会議室

正会員 24名

出席者 15名(本人出席6名、委任状提出5名、書面表決4名)

- ・平成29年度の事業報告及び収支報告
- ・平成30年度の事業計画及び収支予算(案)の審議

【2】理事会の開催

- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| ① 第181回理事会 | 4月7日(土) | ② 第182回理事会 | 5月12日(土) |
| ③ 第183回理事会 | 7月14日(土) | ④ 第184回理事会 | 9月1日(土) |
| ⑤ 第185回理事会 | 10月13日(土) | ⑥ 第186回理事会 | 12月16日(土) |
| ⑦ 第187回理事会 | 1月23日(水) | ⑧ 第188回理事会 | 2月28日(木) |
| ⑨ 第189回理事会 | 3月16日(土) | | |

【3】自主事業

(1)「ふれあい貸し農園とまと倶楽部」事業

総区画数 28区画 空き区画数:3区画

利用者数 13名

(2)一時預り保育事業

パート就労・産前産後・リフレッシュ(買い物・ランチ)・育児疲労・小学生の放課後や夏休み等、保護者が一時的に保育できない時に子どもを預かった。

保育人数 : 855名(延べ)

保育時間 : 3,502時間

(3)生活困窮者世帯の子どものための学習支援事業(土浦市)

○経済的な事情等で既存の学習塾に通うことのできない小、中学生を対象に、教育経験者・学生等のボランティアによる学習サポートを行った。

☆内容

- ・学習意欲があり、向上心に満ち溢れた子どもたちを応援する。
- ・どのように学習したらよいのかわからない子どもたちに学習方法を指導する。

- ・進学進路などの相談や高校、大学受験の進め方もサポートする。
- ・自主学習をベースにしながらか個別にもアドバイスしながら学習を進める。

①学習支援事業

	実施日	H30 年度 累 計	
土浦教室	火曜日実施	生徒 511 名 (対象外 15 名)	講師数 254 名
中3教室	金曜日実施	生徒 73 名	講師数 43 名
	計	生徒 584 名 (対象外 15 名)	講師数 297 名

※中学3年生を対象に、「中3教室」を9月から実施。

②相談事業

子どもへの学習支援だけでなく、保護者に対しても学習環境を整えてゆくための相談の場を設けた。2回実施した。

③文化的体験事業

1. 「作って遊ぼう」お楽しみ会開催

日時：平成30年8月28日(火)

場所：いばらきコープ土浦店 コミュニティルーム

内容：ミサンガ作り、皿うどんで会食

参加者：子ども9名、保護者4名

2. 「お楽しみ食事会」開催

日時：平成31年3月5日(火)

場所：いばらきコープ土浦店 コミュニティルーム

内容：お食事会&勉強

参加者：子ども13名、保護者3名

(4)震災支援事業

被災地域及び被災者受入地域における高齢者、児童、障害者を対象とした生活支援活動として、子ども元気プロジェクト2018「熱くなれ！ぼくらの楽しいなつやすみリターンズ」を開催

<イベント概要>

日 時：平成30年9月30日(日)

場 所：常磐大学

対 象：いわき市在住の園児・児童(低学年)とその保護者

内 容：縁日、外遊び、水を使った遊び、など

共 催：TSSボランティア TRICOLOR(常磐大学、常磐短期大学)

参加者：23名

支援者：ボランティア32名

(5)交流事業

「一緒に・茶ロン」の開催

日時：平成31年3月16日(土)
 場所：日立市社会福祉協議会
 対象：会員、支援者、学習支援講師、子ども食堂ボランティア、花友ボランティア、
 常磐大学学生ボランティア
 ボランティアや関係者の方々と交流を深めた。

【4】支援事業

「かみね公園ボランティア花友」の里親活動
 公園除草・清掃、花植え等の活動を事務局としてサポートした。
 管理面積：6,000 平方メートル
 活動ボランティア数：約 1,000 名(延べ)
 活動内容：5月 夏花壇のデザイン、研修
 6月 夏花壇作り
 10月 冬花壇のデザイン、ガーデニング講座
 11月 冬花壇作り
 3月 全体会議

【5】助成金事業

(1)JAIFA 助成事業(2018年4月開始)

「子どもの未来を拓く親子支援事業」として、生活困窮世帯の子どもたちを対象に、学力向上及び学習態度の意欲の向上を目指し、このための学習環境を充実するために、同対象世帯の子どもと親に対して「子ども食堂」および「親子交流イベント」を通じて食と温かな居場所を提供する食育支援を実施した。

- ① 内容：子ども食堂「キッチン・さくらんぼ」
 場所：中小路交流センター
 対象：日立教室の塾生とその保護者、講師

<メニュー>

4月：ちらし寿司	10月：麻婆豆腐
5月：親子丼	11月：炊き込みご飯
6月：カレーライス	12月：クリスマス会
7月：おにぎり弁当	1月：ハヤシライス
8月：オムライス	2月：白菜ロール
9月：手巻き寿司	3月：クッキー、飲み物



- ② バーベキュー in 鶺鴒の島ヴィラ
 2018年9月16日実施

共 催 : TSSボランティア TRICOLOR(常磐大学、常磐短期大学)
 参加者 : 生徒16名 保護者7名
 支援者 : 講師5名、常磐大学学生20名、JAIFA5名、アプリシエイト2名

③ クリスマス会(教育プラザ 2階)

2018年12月25日実施

共 催 : TSSボランティア TRICOLOR(常磐大学、常磐短期大学)
 参加者 : 生徒20名
 支援者 : 講師3名、常磐大学学生23名、JAIFA3名

(2) 鈴縫工業助成事業(2019年4月開始)

「おひさまの恵みプロジェクト」として、児童・青少年の健全育成に係る活動を実施した。

内容:子ども食堂(おにぎりと副食品の提供)

対象:多賀教室、十王教室の塾生と講師

【6】委託事業

(1)かみね公園入口花壇管理事業(日立市)

かみね公園を訪れる人びとの目を楽しませるための花壇作りを行った。

- ・地拵え ・年2回の植え付け ・巡回管理
- ・活動人数:年間約460名

(2)学習支援事業(日立市)

経済的な事情等で既存の学習塾に通うことのできない小、中学生を対象に、教育経験者・学生等のボランティアによる学習サポートを行った。

☆内容

- ・学習意欲があり、向上心に満ち溢れた子どもたちを応援する。
- ・どのように学習したらよいのかわからない子どもたちに学習方法を指導する。
- ・進学進路などの相談や、高校・大学受験の進め方もサポートする。
- ・自主学習をベースにしながら個別にもアドバイスしながら学習を進める。

①学習支援事業(4教室で実施)

	実施日	H30年度 累 計	
日立教室	火曜日実施	生徒 316名 (対象外 160名)	講師数 241名
十王教室	木曜日実施	生徒 530名 (対象外 144名)	講師数 208名
多賀教室	水曜日実施	生徒 366名 (対象外 14名)	講師数 136名
南部教室	火曜日実施	生徒 334名 (対象外 79名)	講師数 127名
土曜教室	土曜日実施	生徒 129名	講師数 56名
	計	生徒 1,675名 (対象外 397名)	講師数 768名

※中学3年生を対象に、「土曜教室」を7月21日から実施。

○教室開催時 生徒へのおやつとして「お寺おやつクラブ」(県内お寺中心)、「たまや」、その他の方々より、お菓子・果物等の提供を受けた。

②相談事業

子どもへの学習支援以外に、保護者に対しても学習環境を整えてゆくための相談の場を設け、8回実施した。

相談員は、以下のような専門家が当たった。

〈臨床心理士〉 水口進 さん (常磐大学教授)

〈教育関係者〉 安田尚道さん (常磐大学教授)

(元)小学校教員・中学校教員・高校教員・進学塾講師等

(3)病後児保育事業(日立市)

女性の社会進出が進む中、子どもを持ちながら働き続ける女性が増え働き方も多様化している。しかし、子どもが病気になると保育園に預けられず仕事を休まざるを得ないというのが現状である。これらの不安の解消と心理的な面なども含めた柔軟かつ総合的な支援の拡充が必要と考え、女性が安心して子育てと仕事を両立できるような環境づくりを進めるため、保育所「さくらんぼキッズルーム」を運営した。

利用人数:68人(延べ)

内 容:保育士・看護師が常駐し、専用の保育室での保育

(4)「はてな?に答える学習塾」事業(2018年5月開始)

市内の小・中学生が自主学習する中で、疑問に思ったことをその場で解決できるように学習支援員を配置し、子ども自身の学びを助け、社会的自立や将来への希望を持つきっかけづくりになるように実施した。

内 容 : 小・中学生が自主学習する中での疑問に答える学習支援

場 所 : 教育プラザ 1F 学習室

対 象 : 教育プラザ学習室使用の小・中学生

実 施 : 週1回(月曜日)17:00~21:00

参加者 : 小学生 97名 中学生 232名

【7】相談・支援事業

NPO設立・ボランティア、NPO立ち上げ等についての相談に応じた。

【8】情報・調査・研究事業

①情報誌の発行 : 2018年7月、2019年2月

②ホームページ更新 : 通年随時